

加護野経営学の 足跡をたどる

～よいことを上手に～

長きにわたり、日本の経営学研究・教育を牽引された加護野忠男先生。「経営学とは、よいことを上手に成し遂げる方法を研究する学問である」という思想のもと、研究と教育に尽力されました。本展示では、その研究業績をたどるとともに、神戸大学における経営学研究・教育の歩みを振り返り、今後のあり方について考えます。

2026年

3月19日(木)▶

4月19日(日)

入場無料

場所

神戸大学社会科学系図書館
2階展示ホール

開館
時間

8時45分～20時(月～金)
11時～17時(土・日)※祝日は休館

展示テーマ

- I 経営学の開拓者たち
- II 経営学部・修士課程時代の研究業績
- III 1980年代から1990年代の研究業績
- IV 2000年代の研究業績
- V 神戸大学MBAの創設
- VI 産業界/神戸と加護野先生



平井泰太郎
(1920年～1960年在職)



市原季一
(1948年～1979年在職)



占部都美
(1952年～1983年在職)

加護野経営学を形成した
神戸大学経営学研究の
先人たち



神戸大学大学院経営学研究科

【お問い合わせ先】 研究助成室 bkenjo@b.kobe-u.ac.jp



加護野経営学の足跡をたどる

～よいことを上手に～

入場無料

| 展 | 示 | の | 概 | 要 |

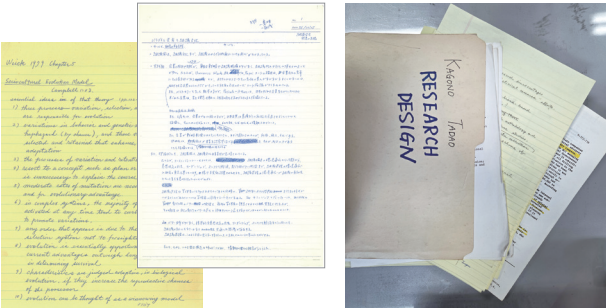
この度の企画では、加護野先生の膨大な研究業績や取り組みの記録を、以下のような整理に基づいて展示します。

I 経営学の開拓者たち

加護野経営学を形成した神戸大学経営学研究の先人たちの足跡をたどります。

II 経営学部・修士課程時代の研究業績

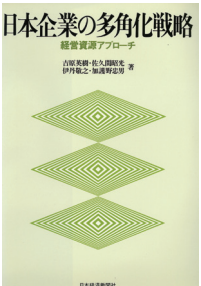
ドイツ経営学とアメリカ経営学から、後の「よいことを上手に」へつながる深い学びについて紹介します。



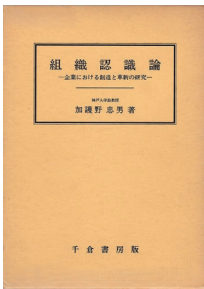
研究や講義に関わる構想メモ

III 1980年代から1990年代の研究業績

初期に発表された研究業績を通して、『経営組織の環境適応』および『組織認識論』へと展開していく研究の流れを紹介します。また、この時期に行われた共同研究の成果として、『日本企業の多角化戦略』や『日米企業の経営比較』に関する研究業績を紹介しします。



日経・経済図書文化賞受賞



組織学会高宮賞受賞

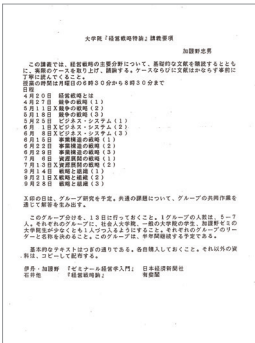
IV 2000年代の研究業績

2000年代を通じて発表された研究業績を、企業統治研究を中心に紹介します。



V 神戸大学MBAの創設

神戸大学経営学研究科・経営学部における加護野先生の取り組みを、MBA創設への貢献を中心に紹介します。



初期のMBAシラバス



加護野忠男論文賞受賞作品集

VI 産業界/神戸と加護野先生

産業界や神戸との関わりの中で、実務家との研究会や学会の立ち上げに取り組まれた加護野先生の活動を紹介しします。



加護野忠男先生
神戸大学名誉教授
1947年11月12日-2024年12月28日
●2025年1月28日
叙位正四位、瑞宝中綬章